十勝毎日新聞

発行所
十勝毎日新聞社
©十勝毎日新聞社 2006
〒080-8688
帯広市東1条南8丁目
TEL(代表)0155-22-2121
編集局 0155-22-2121
広告局 0155-23-2323
販売局 0155-24-2222
事業局 0155-22-7555
総務局 0155-24-2299

宇宙旅行 2012年開始目指す

HASTICと米ロケット会社 業務提携を発表

離着陸拠点に大樹想定

【札幌】小型ロケットや人工衛星を手掛けるNPO法人北海道宇宙科学技術創成センター（札幌市、HASTIC）は23日、米国の宇宙ベンチャー企業、ロケットプレーン・キスラー（RPK）社と、日本での宇宙旅行推進などに関し業務提携したと発表した。法整備を働き掛け、2012年の飛行開始を目指す。HASTICは、宇宙飛行機の離着陸拠点として大樹町を想定しており、業務提携で宇宙基地十勝の夢が一歩前進する。

RPK社は、飛行機のように水平に離着陸し、機体を再使用できる「スペースプレーン」と呼ばれる宇宙飛行機を開発中で08年に米国で試験飛行を開始し、日本での宇宙ビジネスの事業化にも意向を示している。

業務提携は①HASTICは、スペースプレーンを利用した無重力実験の機会を08年から日本の研究者へ提供する②スペースプレーンを利用した小型人工衛星の打ち上げシステムを共同開発する③HASTICは、商業宇宙飛行の日本導入推進計画に協力する―を内容としている。

HASTICではすでに大樹町での滑走路など飛行関連施設と航空法の整備を、国へ要望している。

業務提携は、昨年夏にRPK社のチャールズ・ラウアー副社長が講演のため来日した際、CAMUI型ハイブリッド・ロケットに関心を持ったことがきっかけで、今年2月に技術協力契約を結び、今回の業務提携に至った。ラウアー副社長は、6月にとかち帯広空港と大樹町の多目的航空公園を視察し「十勝は非常に魅力的」と話している。（平野明）